



巡回に出発する警察車両

思いやりと譲り合いのこころを大切に 春の全国交通安全運動を前に出発式

紀宝警察署と紀宝地区交通安全協会、南牟婁郡交通安全対策協議会は4月5日、紀宝警察署駐車場で春の全国交通安全運動の出発式を行いました。

この出発式は、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付け、みなさん一人ひとりの交通安全意識を高め、交通事故防止に努めてもらうことを目的として開催されました。

その後、巡回に出発した警察車両などは、管内の警戒に当たっていました。

Town topics

4 / 5



01. 滝をバックにダンスを披露する出演者。02. 餅とお菓子をもらう来場者。

多彩な催しで楽しい時間 飛雪の滝キャンプ場で春祭りを開催

飛雪の滝キャンプ場は、4月2日、「第2回飛雪の滝キャンプ場春祭り」を開催しました。

これは、浅里地区や近隣住民の方などに日ごろの感謝を込めて行われた催しで、来場者たちは、滝をバックに繰り広げられたダンスを眺め、テントサウナやモルックなどのアクティビティ体験を楽しんでいました。

キャンプ場の笠野マネージャーは、「キャンプ場に足を運んでくださる方に感謝の気持ちを込めて開催しました。楽しんでもらえれば幸いです」と話していました。

また、イベントの最後には来場者全員に餅とお菓子が振る舞われました。

Town topics

4 / 2



左から町農業経営者クラブの谷口会長、北出さん、西田町長

柑橘振興のために 地域おこし協力隊が着任

町は4月11日、新たに町地域おこし協力隊に着任する北出早人さんの委嘱式を町役場で行いました。

地域おこし協力隊は、都市部から地方に移り住み、地域協力活動をとおして、地域の活性化を図る制度で、北出さんは、町農業経営者クラブのもとで、柑橘類の栽培技術を身に付けるとともにインターネットやSNSなどを活用し、柑橘類の振興に向けて活動をしていきます。

北出さんは「栽培技術を学ぶことはもちろんのこと、カメラマンをしていた経験を活かし、すばらしい景観や農業のすばらしさなどのPRに力を入れていただきたいです」と意気込みを語っていました。

Town topics

4 / 11

津本防災センターにクマノザクラを植樹 「みえの防災大賞」記念植樹祭

津本地区自主防災会は、3月27日、「みえの防災大賞」受賞を記念して、津本防災センターにクマノザクラの苗木3本を植樹しました。

クマノザクラは、西田町長、藤根県議、地域防災の将来を担う小中学生がそれぞれ植樹しました。

津本地区自主防災会の谷口会長は、「紀伊半島大水害以降、10年間歩んできた結果が県に認められました。紆余曲折の10年でしたが、みなさんの声が励みになりました。『命を守る』をモットーに、今後も防災へのご支援とご協力を」と話していました。

Town topics

3 / 27



01. 記念撮影する参加者たち。



02. 植樹する様子。

自分の体の状態を知ろう さまざまな角度から健康をチェック

町は3月12日、町福祉センターにおいて、健康チェックフェスを開催しました。

これは、自分の体をさまざまな角度からチェックすることで、今の自分の体の状態を客観的に知ってもらい、生活改善に役立てもらうことを目的に開催したものでした。

町では、特定健診で40歳以上の方は同様の検査を受けることができるため、今回は39歳以下の方を優先して予約制で行い、参加した41人は、血液検査や骨の健康度測定など、5つの検査・測定を受け、自身の健康について意識を高めしていました。



血液検査をする参加者

Town topics

3 / 12



協力隊を退任された伊藤さん（左）と西田町長（右）

引き続き、ウミガメ公園で飼育員を継続 地域おこし協力隊を退任

地域おこし協力隊として活動していた伊藤裕也さんが3年間の任期を終えることから3月30日、西田町長に退任の報告を行い、西田町長から活動のお礼と労いの言葉がかけられました。

伊藤さんは平成31年4月から活動を開始し、ウミガメの飼育・保護啓発に関するここと、ウミガメショップの運営に関することなど、主にウミガメ公園での活動を行ってきました。

引き続き、地域おこし協力隊としての活動経験やスキルを活かし、ウミガメ公園で飼育員として勤務されています。

Town topics

3 / 30